

## 地域の良さを再認識 児童がそば手打ち体験

波野小学校の4年生9人が3月13日、地元特産のそばの手打ちを体験しました。

児童たちは、地元特産のそばを育てることで、地域の良さを再認識しようと、昨年8月からそばを育て収穫。今回、地元住民から指

導を受け、そば打ちの実習に取り組みました。

完成したそばを食べた子どもたちからは「そば打ちは難しかったけど、みんなで一緒に作ったそばは美味しかった」と満足したようすでした。



## 手作りの木馬で楽しんで！

阿蘇地区木材需要拡大対策協議会が寄贈

農林業関係団体でつくる阿蘇地域木材需要拡大対策協議会が3月7日、市内4か所の保育園に手作りの木製玩具を贈りました。

子どもたちに木材の良さやぬくもりを感じてもらおうと、同会が毎年寄贈している

もので、今回、内牧・黒川・宮地・波野の4保育園に、大小2つの手作り木馬をプレゼント。宮地保育園では、職員が「みんなで楽しく遊んでください」と木馬を手渡すと、園児たちはさっそく木馬にまたがり楽しんでいました。



木馬にまたがり喜ぶ宮地保育園の園児たち

## 熊本ゴールデンラークスを 招いて野球教室



選手のピッチングを見守る子どもたち

熊本の社会人野球チーム「熊本ゴールデンラークス」を招いた野球教室が3月2日、農村公園あびかで開かれ、参加した子どもたちは熱心に指導を受けていました。

セミプロの選手から指導を受け、子どもたちに日頃の練習の励みにもしてもらおうと、市軟式野球協会（大谷藤哉会長）が毎年開催しており、今回5回目。この日は、市内の少年野球クラブや中学校から8チーム127人が参加。子どもたちは、ゴールデンラークス選手たちと楽しみながら、バッティングや守備の練習に取り組みました。

## 内牧温泉の玄関口に観光案内板

農林中央金庫福岡支店（倉田幹土支店長）と阿蘇森林組合（今村健正代表理事組合長）は2月18日、阿蘇の木材で作った観光案内板を市に寄贈しました。

高さ5㍎、幅1・8㍎の観光案内板は内牧温泉入口交差点に設置され、「阿蘇内牧温泉」の文字が表記されています。LEDライトが点灯する仕組みになっており、夜間にも対応しています。

市役所で行われた贈呈式で佐藤市長は「贈呈いただいた案内板を、今後も阿蘇市の観光を広くPRしていきたい」と謝辞を述べました。



## 卒園前の思い出に♪ 坂梨保育園でコンサート



園児たちに生の演奏を身近に楽しんでもらおうと2月22日、坂梨保育園でピアノとフルートのコンサートが開かれました。

地元のピアノ講師志賀総学さんと合志市在住の松村光子さんが共演し、ショパンの『幻想即興曲』などの本格的なピアノ演奏のほか、童謡『チューリップ』や『ちょうちょ』など7曲を披露。鑑賞した親子は一緒に手拍子をたたいて、演奏を楽しみました。

未来の農業担い手、青年農業者大会  
下村委也氏が秀賞を受賞

熊本県下の青年農業者が集い、日頃の活動成果を発表する熊本県青年農業者会議が2月13日、熊本県庁で開かれ、阿蘇市青年農業者クラブ会長の市原豪氏（露地野菜部門）と下村委也氏（花き部門）の2名が活動成果を発表しました。

市原氏は「里芋における液肥散布の有無による成長の違い」を発表。また、下村氏は「阿蘇での冬場の作物としてのカラー（花き）の栽培」について発表し、下村氏が見事秀賞を受賞しました。

同クラブ員は現在10人。これからの阿蘇市の農業を担う若手農業者として、日頃から農業イベントの運営や勉強会などに取り組んでいます。



秀賞を受賞した下村氏

# 「きれいに咲いてね！」中央公園に卒園記念植樹

卒園を前に思い出を作ってもらおうと3月17日、(株)ASOワークネットが阿蘇中央幼稚園の年長児43人を阿蘇中央公園（内牧）に招いて桜の苗木を植樹しました。

苗木は、熊本市在住の鐘ヶ江榮子さんから贈られたもので、河津桜や吉野桜など50本。園児は、一本一本丁寧に植え付け、その後、自ら描いた似顔絵やイラストの木札を取り付けました。

鐘ヶ江さんは「子どもたちには明るく希望を持って生きてほしい」と目を細めていました。



## みんなの 広 場

### 阿蘇ジュニア ベースボールスクールのご案内

チームに所属していない多くの子どもたちに、楽しい野球を広く普及させることを目的にベースボールスクールを始めます。



自由に参加して、誰もが野球を楽しめる場を目指します。どうぞご参加ください。

- 対 象 阿蘇市の小・中学生（男女問わず）
  - 練 習 週1回（その他、春休みと夏休みを利用）
  - 参加費 無料
- ※帽子やTシャツも参加者に無料で配布します。  
 ※グローブ、バット、ボールは用意します。  
 ※中学生は部活後の練習をする場も設ける予定です。  
 ※祝祭日で学校行事に関係する日は行いません。  
 ※小学5・6年生は座学（ビデオ学習）も行う予定です。
- 問い合わせ 山口☎ 090-3073-3636



「花が咲くのが楽しみ」と、樹を植える園児たち。



## コミュニティ助成事業で 活動備品を整備

宝くじのコミュニティ助成事業を活用し、中江区がこのほど地域の伝統芸能である岩戸神楽の衣装を整備しました。

この助成事業は、地域社会の健全な発展を図ることを目的とした社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

活動備品が新しく整備されたことにより、コミュニティ活動が一層活発になると期待されます。



阿蘇ジオパーク推進協議会が3月12日、宿泊施設や地域づくり団体を対象にジオパークの普及啓発と理解浸透を図ろうと市内ホテルで講演会を開き、関係者約60人が参加しました。

平成22年に世界認定された『山陰海岸世界ジオパーク』のジオガイドを務める今井ひろこ氏（NP〇法人たじま海の学校副代表）が、これまで取り組んできた先進事例を紹介し「一つ一つの物事にジオストーリーを絡めて観光客に丁寧に説明することが大事」など、人が創り上げていくジオパークの重要性について講演しました。



# 阿蘇ジオパーク講演会を開催

## 阿蘇市消防団員が幹部候補中央特別研修会に参加

全国の消防団員の幹部候補生を対象とした中央特別研修会が2月5日から3日間、日本消防会館及び総務省消防庁危機管理センター（東京都）を主会場に開催されました。全国から約140名の研修生が参加。本市から第12分団第2部、部長の家入靖幸さんが熊本県の研修生（県内3名）として参加しました。

2月10日、佐藤市長に研修の報告を行った家入部長は「全国の幹部候補生の方々との意見交換を通じて、難航する若年層団員の加入促進のためには、防災教育の充実や地域住民の消防活動への理解が大事。また、東北の候補生から東日本大震災で多数の消防団員が犠牲になったとの報告を聞き、団員自らの身の安全を確保しながらの活動、『逃げる勇気』の



阿蘇市消防団第12分団第2部  
家入靖幸さん

必要性を再認識した」と報告しました。

「今後は、この研修を活かして、消防団員としての重要な使命を再認識し、高い士気のもと、訓練を重ね地域防災の要として地域住民の期待と信頼に応えていきたい」と話していました。

## 22 チームが熱戦 大阿蘇旗少女バレーボール大会

第23回大阿蘇旗少女バレーボール大会（阿蘇市バレーボール協会主催）が2月23日、一の宮中学校など市内3か所で開かれました。

大会には、県内各地から小学6年生を中心とした22チームが参加。熱戦を展開し、会場は応援の保護者らの歓声に包まれていました。

阿蘇市からも3チームが参加し、宮地小学校が3位に輝きました。



アタックを決める選手

### 大会結果

- 優勝 白山VBC
- 準優勝 金剛ジュニアバレーボールクラブ
- 第3位 宮地小学校・熊本G L O R Yバレーボールクラブ



親子で合唱曲『阿蘇』を唄う合唱団

## 一足早い春の歌声

阿蘇少年少女合唱団の演奏会が3月2日、就業改善センターで開かれ、子どもたちの歌声を聴こうと多くの観客が詰めかけました。

演奏会は、同団が毎年開いているもので、ことは合唱曲の演奏のほか、地域を題材にしたオリジナルミュージカルや『鬼八』の紙芝居などを披露。また、団員の保護者などを交えた合唱曲『阿蘇』が披露されるなど、会場には一足早い春の歌声が響きわたりました。

同団は結成から30年を超える伝統ある合唱団で、現在11人で練習に励んでいます。興味のある方は事務局（☎ 3214518）まで。

